



<第2期>

# 幕別町子どもの読書活動推進計画

ほんはともだち

こどもヨヨロ本棚



## 目次

### 第1章 基本的な考え方

- |   |  |   |
|---|--|---|
| 1 | 計画策定の趣旨  | 3 |
|   | 現計画が平成22年度で終了することから、これまでの取組みの成果と課題をもとに、新計画を策定しました。         |   |
| 2 | 基本理念   | 3 |
|   | 幕別町のすべての子どもがあらゆる機会、あらゆる場所で、自主的に読書活動が行えるよう積極的にその環境を整えていきます。 |   |
| 3 | 計画の性格  | 3 |
|   | 学校・図書館などの関係機関・団体等が連携・協力し、子どもの読書環境の整備に取り組む方向性を示します。         |   |
| 4 | 計画の期間  | 3 |
|   | 平成23年度から29年度までの7カ年計画とし、計画終了年次を第5期幕別町総合計画に合わせます。            |   |
| 5 | めざす姿   | 4 |
|   | 三つの観点から子どもの自主的な読書活動を推進します。                                 |   |
|   | (1) 読書の機会をふんだんに  |   |
|   | (2) 読書の環境を整える  |   |
|   | (3) 読書活動を広げる   |   |

### 第2章 読書活動推進のための方策

- |   |   |    |
|---|---|----|
| 1 | 読書の機会をふんだんに                                       |    |
|   | 家庭・地域・学校がそれぞれの機能を発揮し、子どもの発達段階に応じた読書活動の機会の充実に努めます。 |    |
|   | (1) 家庭・地域での読書活動                                   | 5  |
|   | (2) 学校での読書活動                                      | 7  |
| 2 | 読書の環境を整える   |    |
|   | 図書館や学校図書館の図書資料等を充実し、子どもが身近なところで読書ができる環境を整備します。    |    |
|   | (1) 学校図書館の整備・充実                                   | 11 |
|   | (2) 幕別町図書館の整備・充実                                  | 12 |
|   | (3) 子どもの読書活動を進める体制の整備                             | 14 |
| 3 | 読書活動を広げる  |    |
|   | 子どもの読書活動の意義や重要性について、町民の理解と関心が深まるよう普及・啓発活動を進めます。   |    |
|   | (1) 広報事業の推進                                       | 15 |

## 第3章 計画の目安

### 1 取組の目標値 16

計画の進捗状況が把握できるよう 計画最終年次の目標値を設定します。

学校図書館の図書標準達成率

図書館の児童図書 蔵書冊数

図書館の18歳未満 1人当たり貸出冊数 (利用登録者)

図書館の18歳未満利用登録率

「本を読むのが好き！」な児童生徒の割合



### 資料編

- |                           |    |
|---------------------------|----|
| 1 幕別町読書アンケート結果 (平成21年11月) | 17 |
| 2 子どもの読書活動に関する参考サイト       | 20 |

### 1 計画策定の趣旨

平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行されたのを受け、幕別町教育委員会は平成16年2月に「幕別町子どもの読書活動推進計画」(以下、「推進計画」といいます。)を策定し、家庭や地域、学校や図書館などいろいろな場所で子どもたちが自主的に読書活動ができるよう環境づくりを進めてきました。

平成22年度で計画期間が終了することから、7年間の取り組みの成果と課題を踏まえ、新たな「推進計画」を策定するものです。

策定に当たっては、前推進計画の基本理念を継続することとし、新たに目標指標を設定するなど、本町の子ども読書活動の充実に向けた見直しを図りました。

### 2 基本理念

読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

幕別町のすべての子どもがあらゆる機会、あらゆる場所で、自主的に読書活動を行うことができるよう積極的にその環境を整えていきます。

### 3 計画の性格

この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づくものであるとともに、「幕別町生涯学習中期計画」の個別計画として位置づけ、学校、図書館などの関係機関・団体等が連携・協力し、子どもの読書環境の整備に取り組む方向性を示すものです。

### 4 計画の期間

平成23年度から29年度までの7カ年計画とし、計画終了年次を第5期幕別町総合計画に合わせることにしました。

### 5 めざす姿

この計画では、「すべての子どもがあらゆる機会、あらゆる場所で読書活動ができる環境を整えていく」という基本理念に基づき、町全体として、次の三つの観点で子どもの読書活動を推進します。

(1) 読書の機会をふんだんに

子どもが本に触れる場は、家庭・図書館などの地域・学校があります。

生涯にわたる読書習慣を身につけられるよう、それぞれの場に応じて、子ども自身が読書の楽しさに出会う機会をふんだんにつくります。

(2) 読書の環境を整える

子どもの読みたい・調べたいという意欲を育てるには、子どもの身近に本がある環境づくりが重要です。

学校図書館や図書館の図書資料等を充実させ、家庭・地域・学校が協力し、いつでもどこでも読書ができる環境を整えるよう努めます。

(3) 読書活動を広げる

子どもが読書習慣を身につけるには、身近な大人が読書活動の大切さを理解し伝えることも重要です。

家庭、地域、学校を通じた地域全体で読書活動を推進するため、理解と関心を深める取組をし、子どもの読書活動に対する理解の促進に努めます。

## 1 読書の機会をふんだんに

子どもが読書習慣を身につけることができるよう、家庭、学校や図書館などの関係機関が連携、協力し、それぞれの機能を活かした読書活動の機会の充実に努めます。

### (1) 家庭・地域での読書活動

#### 【現状と課題】

家庭は、子どもが最初に本と出会う場だけでなく、読書への関心や興味を持たせる上でも重要な役割を担っています。そのため、保護者に対して、家庭での読み聞かせや、一緒に本を読んだり、図書館へ出かけたりするなど、子どもが読書の時間を持つよう習慣づけることの重要性について理解を深めていく必要があります。

幕別町では、乳児健診（7・8カ月）の際に、図書館司書が保護者にブックスタートの趣旨や読み聞かせのコツなどを説明し、絵本セット（4冊）を貸し出す「マイファーストブック・サポート」を平成15年10月から実施しています。貸出期間は1カ月で、返却の際にセットの中から気に入った本を1冊をプレゼントし、図書館所蔵の絵本リストを配布しています。家庭での絵本を介したふれあいの大切さや楽しさを保護者に伝える活動は、今後とも図書館事業の大きな柱として位置づけていきます。

マイファーストブック・サポート地域別貸出者（プレゼント数）

	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22
幕別	26	68	31	41	30	33	32	
札内	89	240	158	155	152	172	130	
忠類			3	17	13	14	6	
計	115	208	192	213	195	219	168	

「マイファーストブック・サポート」に取り組み始めてから、図書館や移動図書館車で絵本を借りる親子連れが増え、絵本・紙芝居の貸出冊数も年々増加してきました。

絵本・紙芝居の貸出点数

	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22
絵本	28,023	28,726	29,124	32,675	34,211	36,621	41,741	
紙芝居	8,006	8,446	7,926	7,906	8,352	8,972	9,044	
計	36,029	37,172	37,050	40,581	42,563	45,593	50,785	

図書館を活動の場として、定期的に読み聞かせや紙芝居の上演を行っている団体が4団体あり、行事を楽しみにしている子どもは多く、読書活動への入り口として大きな役割を果たしています。

## ボランティア団体の活動

団体名	活動拠点	活動内容
ちるどらん	幕別	紙芝居 読み聞かせ
あっちこっち紙芝居	札内	紙芝居
ババール	札内	読み聞かせ
おはなしのたね	忠類	読み聞かせ

### 【今後の方向】

家庭は、子どもが最初に本と出会う場であり、読書に対する興味や関心を持たせる上で重要な役割を担っています。特に、乳幼児期(0～5歳)には、読み聞かせなどを通して親子のふれあいをはぐくむとともに、子どもの精神的な安定感や親への信頼感を養い、基本的な生活習慣や自発性・創造性を学ぶ大切な時期にあたります。

このため、「マイファーストブック・サポート」に引き続き取り組み、親子で本を楽しむ新たな取り組みや普及啓発活動に努めます。

### 【具体的な取組】

#### おうちの本棚

本に親しむきっかけづくりとして「マイファーストブック・サポート」を引き続き実施するとともに、おすすめの絵本などのブックリストを配布します。

#### 図書館の本棚

「おうちの本棚」の例をリアル展示し、絵本の選び方を提案するとともに、「マイファーストブック・サポート」のフォローアップとなる催しや講座を実施します。

親子でいっしょにゆっくり本選び・本探しができるよう、絵本コーナーに「パパの本棚・ママの本棚」を加えるなど、図書館が身近に感じられる棚づくりを進めます。

図書館への要望で「漫画を増やして欲しい」という意見が多かったことから、漫画が原作の小説、漫画で書かれている資料等を収集し、漫画から文学書へ関心をシフトさせていくことに取り組みます。

#### 公共施設の本棚

保健福祉センターなど、子育て相談で訪れる機会が多い公共施設に、ブックリスト掲載図書を常設します。

#### ボランティア団体への支援

ボランティア団体の活動を側面から支援するため、情報提供や団体間の交流を進めます。

## (2) 学校での読書活動

### 【現状と課題】

保育所・幼稚園等では、幼児期に読書の楽しさを知ることができるよう、幼児が絵本や物語などに親しむ活動を積極的に行っていくことが求められています。

学校では、国語科などの教科を通じて多様な読書活動を推進するとともに、全校一斉読書や読み聞かせなど、従来から学習活動を通じた読書活動が行われています。

児童生徒の読書意欲をより高めるため、学校図書館を活用した学習を行うなど、読書指導の充実を図ることが重要です。

読書をめぐる幕別町の状況を、平成21年11月に町内の全小中学生を対象に行った「読書アンケート」からみてみます。

回答数は小学生1,554人（回答率91%）、中学生786人（同90%）。

比較対象は、帯広市読書調査（平成20年11月）、全国学校読書調査（平成21年9月）。小学生は、帯広市・全国とも対象を小学4年生からとしているため、幕別町も小学4～6年生までの集計で比較しました。

#### <小学生>

- ・「今までに家の人に本を読んでもらったことがあるか」との質問には、72%が「ある」と答えている。
- ・「本を読むことが好き」という回答が多いが（幕別町48%、全国39%）、1か月に読む冊数は少ない（3冊以上の回答が幕別町46%、全国77%）。本は好きだが、自分に合う本が見つけれられていないことが考えられる。
- ・1か月の間に本をまったく読まなかった児童は20%で、その理由は「ほかにやりたいことがある」「読みたい本がない」「勉強や塾、習い事で時間がない」などとしている。全国調査では6%であることから、不読率が非常に高くなっている。
- ・学校図書館で本を借りたい・読んだりしたことが「ない」と答えた児童は6%。
- ・読みたい本は、「買う」が41%で、「借りる」は図書館からが23%、学校図書館からが20%、友達からが11%となっており、半数弱が図書館や学校図書館を利用している。
- ・本を読む場所は、自分の家が最も多く37%、次いで学校図書館が21%、図書館が14%となっている。

#### <中学生>

- ・「今までに家の人に本を読んでもらったことがあるか」との質問には、



57%が「ある」と答えている。小学生に比べると15ポイントも低く、見方を変えると、読み聞かせが次第に広がってきているとも捉えることができる。

・「本を読むことが好き」という回答は43%（全国28%）と多いが、1カ月に読む冊数は少なく（3冊以上の回答が幕別町23%、全国50%）小学生と同様の傾向が現れている。本は好きだが、自分に合う本が見つけれずにいることが考えられる。

・1カ月の間に本をまったく読まなかった生徒は22%で、全国調査の13%に比べて不読率が非常に高い。その理由は「読みたい本がない」「勉強や塾、習い事で時間がない」「普段から読まない、読みたくない」「ほかにやりたいことがある」の他、「借りたいが図書館が遠い」とした生徒が多い。

・学校図書館で本を借りたい読んだりしたことが「ない」と答えた生徒は10%。

読みたい本は、「買う」が52%で、「借りる」は図書館からが10%、学校図書館からが14%、友達からが21%となっている。小学生に比べると図書館や学校図書館の利用が減少し、友達から借りる割合が倍増している。

・本を読む場所は、自分の家が最も多く52%、次いで書店が15%となっており、小学生に比べると図書館と学校図書館の利用は半減している。

調べ学習は、小・中学校の多くの教科で行われており、ほぼ定着していることがうかがえます。使われる資料は、インターネットがトップで小学校72%、中学校では80%に達しており、次いで資料集、図鑑・百科事典などとなっています。また、「自分で調べるのが楽しい」「もっと調べ学習の時間を増やしてほしい」と肯定的な答えが多く、きめ細かな指導の成果が現れてきているといえます。（全国学校図書館協議会「第56回学校読書調査報告」より）

読書についてどんなイメージをもっているかを、全国学校読書調査でみると年齢が上がるにつれて肯定的なイメージが大きく下がっていきます。

一方、否定的なイメージからは、読書は苦しいことではないがめんどうだとする中学生像、高校生像が浮かんできます。知的好奇心を満足させるものが、本以上に他のメディアであるのかもしれませんが。

#### 読書の肯定的イメージ

	小学生	中学生	高校生
楽しいこと	68.5%	57.7%	47.6%
必要なこと	53.0%	43.9%	35.3%
役に立つこと	65.5%	49.8%	45.8%

良いこと	68.7%	60.7%	54.9%
------	-------	-------	-------

#### 読書の否定的イメージ

	小学生	中学生	高校生
苦しいこと	2.1%	2.6%	2.3%
めんどくさい	7.4%	11.5%	13.2%
興味がない	7.4%	9.8%	11.0%
良くないこと	1.5%	0.9%	0.7%

子どもたちが読みたい本を選ぶときの基準を、全国学校読書調査でみると、最も多いのが「本の題名」、次いで「表紙」、世の中の人気や評判、映画やテレビの原作、友だちのすすめ」などと続きます。

また、年齢が上がるにつれ「好きな作家」がランクインしてくる一方、「先生のすすめ」「家族のすすめ」は減っていきます。自立していく発達段階で、「大人が読ませたい本」と子どもが読みたい本」が違ってくるようすがうかがえます。友だちにすすめる感覚で配架やディスプレイを子どもたち自身が手がけるのも、読書活動を広げる方法の一つです。

#### どうすれば本を読む児童生徒がもっと増えると思うか

	1 位	2 位	3 位
小学生	おもしろいタイトルにする	漢字にふりがなをつけて読みやすくする	内容をもっとおもしろくする
中学生	値段をもっと安くする	内容をもっとおもしろくする	おもしろいタイトルにする
高校生	値段をもっと安くする	内容をもっとおもしろくする	目立つような宣伝をする

学校職員の通常の校務が多忙を極める中、学校図書館を有効に活用し、読書活動を進めていくには、ボランティアやPTAの力を借りることも現実的な手立てとして考える必要があるかもしれません。

#### 【今後の方向】

日常の学習活動を通じた読書指導をはじめ、全校一斉読書など、読書習慣が身につく取り組みを進めます。また、学校図書館への支援策として、図書館からの団体貸出（学級文庫）を充実するとともに、学校図書館のリフォームや運営に関する相談機能を高めます。

#### 【具体的な取組】

##### 保育所・幼稚園等で

保育所や幼稚園の図書の整備を図ります。また、保護者には、読み聞かせ等の重要性を周知する取り組みをします。

図書館では、保育所・幼稚園への団体貸出により幼児期の読書活動を支援します。また、図書館の利用情報や子どもの年齢に応じたブックリストなど、最新の情報を提供します。

##### 小・中学校で

各教科・特別活動・総合的な学習の時間を通じて、学校図書館を活

用した多様な学習活動を推進します。そのほか、全校一斉読書活動や読書週間の取組等、児童生徒の読書意欲を高め、読書習慣を身につける読書活動を推進します。

図書館では、調べ学習などを積極的に支援するほか、団体貸出(学級文庫)の充実により利用促進を図ります。

#### webの活用

同世代がすすめる本は手に取りやすいため、子どもたちの情報交換の場となるサイトを設けるなど、webの活用を検討します。ここで交わされる意見や感想が、学校図書館、図書館の蔵書構成や運営へのヒントともなり、『みんなの本棚』がより身近に感じられる内容で構成します。

## 2 読書の環境を整える

子どもの読みたい 調べたいという意欲を育てるには、子どもの身近に本がある環境づくりが重要です。

学校図書館や図書館の図書資料等を充実させ、家庭・地域・学校が一つになって、いつでもどこでも読書ができる環境を整えるよう努めます。

### (1) 学校図書館の整備・充実

#### 【現状と課題】

子どもの豊かな読書経験の機会を充実していくためには、子どもの感性を引き出し、さまざまな興味・関心に応える魅力的な学校図書館資料を整備・充実していくことが必要です。また、各教科、特別活動、総合的な学習の時間において多様な教育活動を展開していくためにも、学校図書館資料を充実していくことが求められています。

幕別町では国の学校図書館図書標準を踏まえ整備をすすめており、平成22年度末見込み（特別支援学級を含む）で、小学校が75.0%（標準冊数60,440冊・蔵書冊数45,338冊）、中学校が86.4%（40,560冊・35,024冊）となっています。

しかし、古い本なども含まれており、学校図書館の図書資料は、今後も計画的に整備していくことが必要です。また、読書アンケートからも明らかのように本を読む冊数が低くとどまっていることから、学校図書館の利用促進を図る必要があります。

学校図書館の情報化は、平成19年度に学校図書館システムを町内の全中学校に導入し、蔵書管理や貸出業務の効率化が実現し、学校間の相互貸借も可能になっています。また、図書館の蔵書検索もできる機能を備えています。さらに有効活用することが期待されます。

小学校では、規模の小さな学校も多いことから、現在のところ学校図書館システムの導入を求める意見はなく、一般的なソフトによる簡易な蔵書管理を希望する学校がほとんどとなっています。

司書教諭は、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導を行うなど、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担っています。

幕別町では、12学級以上の小中学校に司書教諭を配置していますが、司書教諭のみならずすべての教職員が連携して学校図書館の活用に取り組むことが重要です。また、大規模校では、ボランティア・PTAの協力も視野に入れた運営が選択肢として考えられます。

学校職員やPTAの協力も得て学校図書館を整備し、明るく楽しい場所に

変えることで、子どもたちの読書意欲を高めることができると考えられます。

#### 【今後の方向】

学校図書館の図書資料等の整備・充実に努めるとともに、図書館やボランティアの連携・協力も得ながら、子どもたちの読書環境の充実に努めます。

#### 【具体的な取組】

##### 図書資料を広く・厚く

国の学校図書館図書標準を踏まえ、図書資料の整備・充実を計画的に進めます。

図書館からは、選書のアドバイス、ベストリーダーの紹介など、学校図書館の図書資料整備の参考となる情報を提供します。

##### 居心地のよい空間づくり

図書館では、図書の整理や補修などの技術指導をはじめ、学校図書館を居心地のよい空間にするため、リフォームやディスプレイなどの相談に応じます。

##### こどもゴコロの棚づくり

学校図書館や本へ子どもたちの興味を向けるため、子どもたちと一緒に選書したり魅力的な棚づくりやディスプレイに取り組みます。また、自分たちで受け入れ・整理した本を実際に貸出す仕事は、子どもが本に対する喜びと愛着を高めることから、学校図書館に関わる機会を積極的に作ります。

## (2) 幕別町図書館の整備・充実

#### 【現状と課題】

図書館は、子どもたちが自分の読みたい本を豊富な図書の中から自由に選択し、読書の楽しみを知ることができる場所です。また、自ら必要な情報を集め、どの情報を利用するかなど、読解力や情報を活用する力を身につけることができます。

図書館では、多くの子どもたちが読書を楽しみ、豊かな創造性や読解力を身につけることができるように、児童・青少年用の図書館資料等の充実に努め、さまざまな相談に対応する必要があります。

幕別町図書館は開館から20年がたちました。平成8年には札内分館が、同18年には町村合併により忠類分館が加わり、3館で約6万冊の児童書と、約2,500点の子ども向け映像資料を所蔵しています。これらをより有効に活用するため、ブックリストの作成など、子どもゴコロに即した読書案内の工夫が求められます。

### 児童書の蔵書点数と全蔵書に占める割合 (AVを除く)

	平3	平8	平16	平18	平19	平20	平21	平22
児童書	16,252	35,625	48,712	56,160	56,141	57,771	59,629	.....
全蔵書	49,560	109,181	179,849	200,132	201,503	205,598	210,367	.....
割合	32.8%	32.6%	27.1%	28.1%	27.9%	28.1%	28.3%	.....

次世代へ町の歴史と文化を伝えるため、郷土資料の収集・保存に努めています。また、保存している写真や映像資料のデジタル化に合わせ、ふるさと学習に向けて新たな活用策を見出す必要があります。

広い町内全域に図書館サービスが行き渡るよう、移動図書館車スワディ号が8コース・32ステーション(保育所・幼稚園、小学校のほかコミセンや公園など)を、月2回巡回しています。

移動図書館車での全貸出冊数41,868冊のうち児童書が38,331冊(92%)を占めています(平成21年度)。

小学校は昼休みの限られた時間での利用となるため、団体貸出(学級文庫)によって補完しているケースもあります。

施設面では、より快適な読書環境とするため、冷房設備の導入が課題となっています。また、図書資料の利用期間を長持ちさせるための断熱フィルムの設置、導入から年数がたつAV機器の更新についても検討する必要があります。

#### 【今後の方向】

子どもの読書活動のよりよい環境づくりに向け、図書館の図書資料等の充実、施設面の整備に努めます。また、図書資料を多様な方向から活用できる取組みを行います。

#### 【具体的な取組】

##### 図書資料の整備・充実

乳幼児期から絵本に親しんでもらうため、子どもが興味・関心を持てる絵本や紙芝居を幅広くそろえます。

また、十勝管内の民話や童話、アイヌ文化などに関する図書資料の収集に努めます。

##### 図書館の情報化

映像資料のデジタル化を進めるとともに、ふるさと学習に活用できるよう郷土資料の収集と編集に努めます。

##### 移動図書館車

移動図書館の巡回ステーションとなっていない中学校へも、最寄の運行ルートに合わせ、リクエストのあった本や団体貸出セットを届けま

す。

#### 施設 設備の充実

夏休みの図書館利用を促進するため、冷房設備の導入を進め、断熱フィルムなど環境配慮型の取り組みを行います。

子どもが自ら調べ学ぶ楽しさを感じられるよう インターネット端末やAV機器の活用を進めるとともに、導入から年数を経た機器の更新に努めます。

### (3) 子どもの読書活動を進める体制の整備

#### 【現状と課題】

子どもの自主的な読書活動を推めるには、家庭、地域、学校を通じた地域全体での取組が重要です。そのためには、子どもが読書に親しむ機会の充実に向け、関係機関・団体等が連携し協力して取り組む必要があります。

ボランティア団体は、子どもの読書活動に重要な役割を担っていることから、今後も連携・協力を深めるとともに団体の活動を支援していくことが必要です。

#### 【今後の方向】

関係機関・団体等の連携・協力を進めるとともに、教職員との情報共有や図書館司書の研修の充実に努めます。

#### 【具体的な取組】

##### ボランティア団体との連携・協力

幼稚園・保育所や学校、図書館などで、いくつものボランティア団体が活動していますが、今後も子どもの読書活動にかかわる事業を連携・協力して実施します。

##### 学校と図書館の連携・協力

学校と図書館、それぞれの取り組みが相乗効果を生み出すよう教職員と図書館司書の意見交換の場を設けます。

##### 図書館職員の人材育成

図書館司書の資質向上を図るため、各種研修への参加、自主研修の実施に努めます。

### 3 読書活動を広げる

子どもの読書活動の意義や重要性について、町民の理解と関心が深まるよう普及・啓発活動を進めます。

#### (1) 広報事業の推進

##### 【現状と課題】

子どもが読書意欲や読書習慣を身につけていく上で、保護者、教職員、保育士など、子どもの身近にいる大人が読書活動に理解と関心を持つことが重要です。町全体で読書活動を推進するため、子ども読書活動の意義や重要性について、町民の間に理解を深め関心を高める必要があります。

図書館では、「子ども読書の日(4月23日)」、「こどもの読書週間(4月23日～5月12日)」、「文字・活字文化の日(10月27日)」、「読書週間(10月27日～11月9日)」などを通してさまざまな事業を展開してきましたが、子どもの読書活動の意義や重要性についての周知がさらに必要です。

子どもの読書活動の取組状況などを情報提供するとともに、行事情報などをきめ細かく提供することが必要です。

##### 【今後の方向】

子どもの読書活動に関する理解の促進を図る広報活動を進めるとともに、子どもの読書活動に関する情報提供に努めます。

##### 【具体的な取組】

###### 子ども読書の日などでの広報

図書館では、子ども読書の日やこどもの読書週間、文字・活字文化の日、読書週間に、ボランティア団体と連携し、おはなし会や紙芝居、読み聞かせ講習会などを開催します。家庭での読書の習慣づけをはじめ、子どもの読書活動の意義や重要性についての周知に努めます。

また、小中学校でも、子どもの読書週間などに合わせた取組を実施し、子どもの読書活動に対する理解の促進に努めます。

###### 優良図書の紹介

子どもの年齢に応じたブックリストの配布など、優良図書の紹介に努めます。



## 1 取組の目標値

計画の進捗状況が把握できるよう 取り組みの目安とする計画最終年次の目標値を次のように設定します。

学校図書館の図書標準達成率 特別支援学級を含む

	前計画最終年度 (平22)	第2次計画最終年度 (平29)
小学校	75.0%	100%
中学校	86.4%	100%

図書館の児童図書 蔵書冊数

	前計画最終年度 (平22)	第2次計画最終年度 (平29)
3館合計	59,700冊	62,000冊

図書館の18歳未満 1人当たり貸出冊数 (利用登録者)

	前計画最終年度 (平22)	第2次計画最終年度 (平29)
3館合計	13.0冊	15.0冊

図書館の18歳未満利用登録率

	前計画最終年度 (平22)	第2次計画最終年度 (平29)
3館合計	90.7%	93.0%

本を読むのが好き!」な児童生徒の割合

	前計画最終年度 (平22)	第2次計画最終年度 (平29)
小学生	48%	60%
中学生	43%	55%

### 1 幕別町読書アンケート結果 (平成21年11月)

回答数は小学生1,554人 (回答率91%)、中学生786人 (同90%)。  
 比較対象は、帯広市読書調査 (平成20年11月)、全国学校読書調査 (平成21年9月)。小学生は、帯広市・全国とも対象を小学4年生からとしているため、幕別町も小学4～6年生までの集計で比較しました。  
 設問の例示が異なる場合は、幕別町の設問に合わせて回答を振り分けてあります。

#### Q1 本を読むのが好きですか？

	小学生				中学生		
	幕別町 1～6年	幕別町 4～6年	帯広市 4～6年	全国 4～6年	幕別町	帯広市	全国
好き	57.7	47.6	43.6	38.9	42.8	41.9	27.7
どちらかといえば好き	27.9	34.4	38.9	42.9	42.0	40.8	48.3
どちらかといえば嫌い	8.9	11.6	11.7	12.4	12.0	12.0	17.2
嫌い	4.4	4.8	5.5	5.1	2.8	4.8	6.2
無回答	1.1	1.6	0.3	0.7	0.4	0.5	0.6

#### Q2 1か月のあいだに、本を何冊ぐらい読みますか？ (マンガ、雑誌をのぞく)

	小学生				中学生		
	幕別町 1～6年	幕別町 4～6年	帯広市 4～6年	全国 4～6年	幕別町	帯広市	全国
0冊	16.0	20.2	17.5	5.4	22.8	24.0	13.2
1～2冊	30.6	33.9	38.5	17.8	54.0	52.1	37.6
3～5冊	23.7	23.4	19.7	27.3	14.8	11.9	30.8
6～9冊	13.6	11.7	10.8	18.7	4.3	5.1	10.6
10冊以上	15.6	10.6	13.2	30.5	4.1	6.1	7.6
無回答	0.5	0.2	0.4	0.3	0.4	0.8	0.2



#### Q2-2 「0冊」(読まなかった)の理由はなんですか？

	小学生			中学生	
	幕別町 1～6年	幕別町 4～6年	帯広市 4～6年	幕別町	帯広市
読みたい本がなかった	24.6	22.4	14.4	20.1	14.3
勉強・塾・習い事で時間がない	12.9	14.2	4.9	18.6	10.5
ふだんから読まない・読みたくない	18.2	18.9	18.1	16.4	18.2
TVやPCをしていて時間がない	8.5	8.2	15.2	7.7	9.9
ほかにやりたいことがある	23.4	25.0	22.5	12.4	18.6
図書館が遠い	3.6	4.6	2.4	17.0	1.9
部活動で時間がない			5.4	2.2	10.7
その他	5.4	5.3	16.9	2.8	15.6
無回答	3.4	1.4	0.2	2.8	0.2

Q3 1カ月のあいだに、マンガを何冊くらい読みますか？

	小学生			中学生	
	幕別町 1-6年	幕別町 4-6年	帯広市 4-6年	幕別町	帯広市
0冊	12.1	8.9	4.9	17.7	6.5
1～2冊	25.1	23.6	12.7	24.2	17.5
3～5冊	21.1	23.2	14.0	21.1	15.9
6～9冊	12.9	15.3	10.6	12.2	8.8
10冊以上	25.5	26.3	56.8	22.3	50.6
無回答	3.3	2.7	1.0	2.5	0.7

Q4 どこで読みますか？

	小学生			中学生	
	幕別町 1-6年	幕別町 4-6年	帯広市 4-6年	幕別町	帯広市
自分の家	34.3	36.8	43.4	52.0	51.3
友だちの家	8.0	9.3	12.2	8.3	12.2
学校図書館	20.3	21.2	15.2	10.6	6.4
図書館	16.7	14.4	9.4	6.2	6.3
書店	12.7	12.6	15.1	14.7	16.6
その他	7.8	5.5	3.9	8.1	6.4
無回答	0.2	0.2	0.8	0.1	0.8

Q4 読みたい本をどのようにして手に入れますか？

	小学生			中学生	
	幕別町 1-6年	幕別町 4-6年	帯広市 4-6年	幕別町	帯広市
買う	38.2	40.8	39.1	51.7	46.0
友だちに借りる	9.0	11.2	15.2	21.8	7.4
学校図書館で借りる	22.2	20.0	12.5	14.0	8.9
図書館で借りる (家にあるものを読む)	25.6	23.3	10.7	10.1	21.4
その他	4.6	4.4	1.3	1.7	0.4
無回答	0.4	0.3	0.8	0.7	0.7

Q5 いつ本を読みますか？

	小学生			中学生	
	幕別町 1-6年	幕別町 4-6年	帯広市 4-6年	幕別町	帯広市
朝食の前	5.1	3.6	4.2	4.0	2.6
学校で	22.5	21.5	18.8	22.7	26.4
学校から帰って夕食までの間	23.1	25.0	25.4	16.8	20.3
夕食後	18.1	18.5	19.9	21.9	21.8
学校が休みの日	29.2	29.3	30.6	31.2	27.6
その他	1.9	2.0		3.0	
無回答	0.1	0.1	1.1	0.4	1.3

Q5 今までに家の人に本を読んでもらったことがありますか？

	幕別町小学生		幕別町 中学生
	1-6年	4-6年	
ある	73.3	72.3	56.9
ない	25.2	26.7	42.2
無回答	1.5	1.0	0.9

Q6 学校図書館で本を借りたり 読んだりしたことがありますか？

	幕別町小学生		幕別町 中学生
	1-6年	4-6年	
ある	93.6	92.6	56.9
ない	5.5	6.4	42.2
無回答	0.9	1.0	0.9

Q7 移動図書館車 (スワディ号) で本を借りたり 読んだりしたことがありますか？

	幕別町小学生		幕別町 中学生
	1-6年	4-6年	
ある	83.3	83.5	76.0
ない	15.7	16.0	23.7
無回答	1.0	0.5	0.3

## 2 子どもの読書活動に関する参考サイト

### 【法令等】

子どもの読書活動の推進に関する法律

文字・活字文化振興法

図書館法

日本十進分類法 (NDC) 9版 3次区分表

学校図書館法

学校図書館憲章

学校図書館図書標準

全国学校図書館協議会図書選定基準

学校図書館図書廃棄規準

幕別町図書館条例

幕別町学校管理規則 第7条の3(司書教諭)

### 【報告書】

これからの学校図書館の活用の在り方等について(子どもの読書サポーターズ会議 報告書)

### 【機関・団体のサイト】

社団法人 全国学校図書館協議会

北海道学校図書館協会

教育情報ナショナルセンター

国立教育政策研究所

国立国語研究所

国立情報学研究所

国立特別支援教育総合研究所

国立国会図書館 子どもと本をつなぐ人のページ 国立国会図書館キッズページ

国立国際子ども図書館

社団法人 日本図書館協会

日本総合学習学会

日本教育学会

日本教育工学会

日本教育メディア学会

一般社団法人 学校図書館図書整備協会

社団法人 読書推進運動協議会

社団法人 日本国際児童図書評議会

## <第2期>幕別町子どもの読書活動推進計画



幕別町図書館 ©2011/04

089-0611 幕別町新町122-7

TEL 0155 54 - 4488 FAX 0155 54 - 4920

e-mail toshokakari@town.makubetsu.lg.jp